

清心生みんな が参加できる

地域貢献・社会連携 活動の紹介コーナー

With 在学生／地域連携・SDGs推進センター

オンラインコンテンツ用

今回は、ごく一部だけです
が活動をご紹介します!! 詳しくは
websiteの「実績報告書」を
ご覧くださいね↓

もしご質問等あれば
nrs@post.ndsu.ac.jp



岡山市のコミュニティサイクル「ももちやり」の利用者MAPを学生目線で企画・デザイン・取材・広報

岡山市×(株)サイカ×清心 : ももちやりMAPプロジェクト①



このMAPの使い方

このMAPはサイカパーキング株式会社、ノートルダム清心女子大学、岡山市の協働プロジェクトによって作成されたものです。MAPの対象は「大学生」と「観光客」となっており、それぞれの対象におすすめのスポットやコースを厳選して紹介しています。ぜひ、ももちやりを利用してMAPに記載された場所を巡ってみてください。新しい岡山市の楽しみ方を体験していただけるはずです。

大学生向け情報「ももちやりMAP」 観光客向け情報「青春をどんどこ、ももちやり」

山陽新聞

2021年(令和3年)11月6日 土曜日

岡山

26

清心女子大生ら製作 マップ完成



ノートルダム清心女子大生が協力して作ったももちやりのマップ

観光スポットや店紹介

「ももちやり」は、ノートルダム清心女子大学が協力して作ったももちやりのマップ。マップはA3判の折りたたみ、3千枚を印刷し、ポータルで無料配布している。

岡山市のコミュニティサイクル「ももちやり」でまち巡りを楽しんでおうち、ノートルダム清心女子大(北区伊福町)の学生有志が製作に参加したマップが完成した。市中心部にある貸し出し・返却拠点だけでなく、若者の目線で選んだおしゃれな店や観光スポットを掲載。まちの魅力を紹介している。(杉本明信)

マップに掲載されて 計21カ所。1人でも入るのほももちやりのりやすいレトロな純喫茶35カ所のポト・貸し 茶、町家を改装したパ出し・返却場所)のほ スタの店、今も人気のか、学生が自ら取材し 画家の作品が並ぶ夢二た観光スポットと店舗 郷土美術館などを紹介

運営に当たったサイカパーキング(東京)が企画した。昼間の利用者が少ないといふももちやりの課題の解決を目指し、若者に日中、街を介して同大に協力を依頼。学生10人が参加して2019年秋から製作を始めた。学生は実際にももちやりを使いながら取材し、新型コロナウイルス感染拡大後はオンライン会議なども活用して市や事業者とミートアップを重ね、完成に近づけた。手に取ってもらいやすいよう、明るい色合いのデザインは学生の意見を反映した。

大学院1年の秋山桃子さん(23)は、日常の中でももちやりを使つて意識した、大学4年黒田菜古さん(22)は「マップを見ながら、ももちやりで岡山の魅力を発見して感じながら巡ってほしい」と話す。

ももちやりで
まち巡りを

岡山市民版

電子版なら他の地域
山陽新聞
<https://www.san-yo.co.jp/>

清心学生が学科・学年を
超えてとりくみました！

岡山市×(株)サイカ×清心 ：ももちやりMAPプロジェクト②

サイカ社
の依頼

～大学生によるももちやりの魅力発信事業～



ももちやり×大学生で効果的な広報を行います

ももちやりができること

- ・ももちやりを使って活動する場合の支援
- ・ももちやりリーフレットの作成や配布
- ・ももちやりのHPやSNSを通じた情報発信

大学生ができること

- ・革新的なアイデアによる新たな広報
・若い世代に刺さる
リーフレットの企画・デザイン

顕在化したニーズへのアプローチ

潜在ニーズの掘り起こし

従来のリーフレット

- 現状① 全体的に情報量が少ない
→ 利用方法に特化し過ぎている
- 現状② リーフレットが刷新されていない
→ 革新的なアイデアが出てきていない
- 現状③ 観光客に有益な情報がない
→ 観光雑誌等の情報に頼っている

これからのリーフレット

アイデアを募る対策

- 市民目線で革新的なアイデアを創出
できる大学生との連携
- 学業と連携して進めることできる
ゼミの授業を活用

観光客を取り込む対策

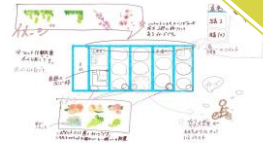
- ももちやりを利用したコースの開発
- SNSを利用した話題性の提供

学生の想像力
自主性の向上
に寄与

市交通
課レク
チャー



話し
合い



中間報
告会



ももちやりでまち巡りを



写真映えスポット
おしゅれカフェ
若者目線で提案

清心女子大生 マップ製作に協力
ノートルダム清心女子大(岡山市北区伊福町)の学生有志が、市のコミュニティサイクル「ももちやり」の利用者アプリを目指す取り組みに協力している。まち巡りを促すオリジナルマップの製作で、人気のカフェやSNS(会員制交流サイト)映えする観光スポットを提案するなど、若者の視点からアイデアを提供している。(中浜沙里)

3日、ほっとプラザ大供(同大供)で中間報告会が開かれた。同大の学生10人や市職員、ももちやりの運営に当たるサイカパーキング(東区)の担当者ら23人が参加した。学生は、若者向けとして市内のカフェや雑貨店などおしゅれな店舗約50カ所の掲載を提案。観光客向けには、岡山空襲をくぐり抜けた木造建築の文学部2年の武久水緒さん(19)は「大学生ならではの視点で岡山ともちやりをアピールするマップを作りたい」と話す。マップは年度内に完成の予定。ももちやりの貸し出し・返却場所(ポイント)や観光案内所で配布。

を挙げ、「写真映えは、若者男女問わず関心が高い」とアピールした。マップ作りは昨年12月にスタートした。まちを巡る楽しみを紹介し、ももちやりの課題となっている通勤利用者の少ない日の貸し出し増加につ

瀬戸内国際
芸術祭

パスポートを無料提供
⇔学生がインスタ広報

福武教育文化振興財団 × 清心 ：瀬戸芸Instagramプロジェクト



学生目線でNPOにアドバイス！全国的に珍しい取り組みです

岡山市 × NPO × 清心 ：市民活動支援アドバイザー

岡山市
主催



2022年(令和4年)1月19日 水曜日

市民活動を支援するため 市民活動支援アドバイザー を派遣します！

市民活動支援アドバイザー派遣とは？

10団体限定

市民活動・地域活動を促進し、地域課題の解決を図るため、市民活動団体の活動に助言等を行うアドバイザーを派遣します

制度の概要

- 地域課題の解決を図る具体的な非営利の活動が対象です
- 約2時間を旨に、助言してほしい内容に沿った講座・座学・ワークショップなどを実施します。アドバイザーによって内容は変わります。
- (例) Zoom等を利用して、高齢者の交流事業が始めたいが、具体的な方法を教えて欲しい。※パソコンソフトの使い方だけでは対象となりません
- (例) チラシを作るので、若い人から直接意見を聞きたい
- ※アドバイザーの指定する資料等は団体側の準備となります
- フォローアップとして実施後2か月以内に2回程度、派遣されたアドバイザーに、追加の質問や相談を行うことができます
- 派遣期間は、令和3年7月1日～令和4年2月15日

アドバイザー一覧

※アドバイザーは都合により変更する場合があります

	内容	アドバイザー
ICT	ZoomなどのICTを活用した地域活動	杉本 倫典(竜之口学区電子町内会)
ICT	支援者拡大のためのマーケティング・データ活用	奥田 修平(認定NPO法人ポケットサポート)
資金調達	助成金の選び方、書類等の作成支援	和田 広子((公財)福岡教育文化振興財団)
地域活性化	さまざまな組織と共に地域で活動する上での付き合い方やポイント	美咲 美佐子(NPO法人岡山市子どもセンター)
地域活性化	地域の特性(人・物・環境など)を活用して、地域を元気にする活動について学ぶ	藤原 基勝(高野尻村をつくる会)
情報発信	効果的な広報・プレゼンテーションのポイント	井口 陽平(NPO法人若者応援コミュニティのりす)
情報発信	イベント、パンフレット作成、イベントの実施にあたり、大学生から直接意見をもらう ※講座等は実施しません	ノートルダム清心女子大学学生(ノートルダム清心女子大学地域連携・SDGs推進センター)

18歳成人で消費者被害増懸念

民法上の成人年齢が18歳に引き下げられるのに伴って、心配される消費者問題の増加を防ごうと、対象世代に情報を届ける方法を考える会合が17日、岡山市内であった。出席したノートルダム清心女子大生が「具体的に起こり得る問題をSNSに上げて」などとアドバイスした。



若者目線で助言するノートルダム清心女子大の(左から)黒田さんと秋山さん

女子大生がNPOにアドバイス

SNSで紹介を
起こり得る問題

NPO法人・消費者ネットおかやまによると、未成年は親の同意がない場合に契約を取り消せるが、4月から18、19歳が対象から外れ、安易な契約から高額な請求や解約トラブルの被害増加が懸念されている。同法人は3月に若者対象の講演会を予定しており、同大地域連携・SDGs推進センターに助言を依頼。4年黒田葉古さん(22)と同大学院1年秋山桃子さん(23)が出席した。

2人は「いきなり講演会では敷居が高い」とし、まず問題意識を持ってもらうために、インスタグラムなどを活用して事例を紹介することを提案した。さらに「カフェなど若者が集まる場所と連携して相談会などを開いては」と話した。

岡山市の市民活動支援アドバイザー派遣事業の一環。同法人は協議内容を今後の広報活動に生かす。(斎藤章一朗)

福祉法人報恩積善会)
健康福祉委員会)
やま助け会(障)
京山地区ESD・SDGs推進協議会)

裏面に続きます

模擬国連の国際的取り組みをベースに学生が自主的に政策提言文章作成→県からの依頼で提供

4つの提
言文章(英
語・日本
語)作成



清心女子大生

- ◆ **女性の仕事と子育ての両立**
 - ・父親対象のキャンペーンや講習会
 - ・出産、育児休暇の重要性を強調するセミナーを各企業で年1回以上実施
- ◆ **障害のある女性の労働**
 - ・県内企業への税制優遇制度の周知徹底
 - ・障害者雇用促進法の認知を高めるポスターの作成と企業への協力要請
- ◆ **女性の管理職登用**
 - ・議会の議員候補者や議席の一定比率を女性に割り当てるクォータ制の導入
 - ・高校や大学で女子を対象にしたセミナーの開催
- ◆ **セクハラなどの防止**
 - ・自覚なく加害者になっている人に向けたキャンペーン
 - ・SNSを活用したホットラインの啓発

地域に目を

模擬国連は実際の国連を模して、学生が各国の代表として協議する活動で、議論は英語で行われ、世界が抱える問題について資料を集めて研究し、解決策を発表、異論のある国との交渉・調整方法などを実践的に学ぶ。

**エリア
NOW**

ノートルダム清心女子大（岡山市北区伊福町）の学生たちが、国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）のジェンダー平等の視点に立ち、行政への政策提言に取り組んだ。「模擬国連」と呼ばれる形式で問題提起から解決策立案までを学んだ学生約20人が、母親の仕事と子育ての両立や女性管理職の増加といった地域課題に着目し、自主的に研究を進めた。今月初めには具体的な解決策を県へ届けた。

ジェンダー平等 4 課題研究

例えば、仕事と子育ての両立では行政機関の統計などを引用し、退職の理由として妊娠と育児、両親の介

から 国際社会から自分たちの住む地域へと目を向けて研究を継続した。特にジェンダー平等といった観点から県の課題を探った。取り上げたのは女性の仕事と子育ての両立、障害のある女性の労働、女性の管理職登用、セクハラなどの防止の四つだ。

女子大生に同大提供

行動が重要

護を挙げる人が多いことや、女性のパートタイム労働者の割合が高くて、男女の賃金格差の要因となっていると指摘。家事や育児のため父親の積極的な参加を狙ったキャンペーンや講習会を実施したり、フレックスタイム制やリモートワークの導入により母親が正社員として働きやすい環境を整備したりするすることを提案した。

学生たちは「実現可能な提言を意識し、小さな取り組みが広がって社会に影響が与えられるよう考えた」といい、四つの課題について計23項目の解決策を提示した。

ルした。SDGsの達成には、こうした行動が重要だ」と話している。



岡山湯郷ベル×清心
：温泉街、美作、サッカー



今日の連載企画「吉備を環る」地域をみつめて
未来をひらく」では、岡山と美作倉敷を結び、倉敷往來の歴史が紹介されていた(1日付)。ちょうど美作をゼミ生と訪れたばかりだったので興味深く読ませていただいた。
訪れた目的は、なでしこリーグ部の女子サッカーチーム「岡山湯郷Belle(ベル)」の試合を観戦し、地域の現状について確認すること。陸上トラックのないスタジアムでの試合には迫力があがり、普段、サッカーを見ない学生も満足していた。
フレイクが飛び交う現代において、真実勝負がなされるスポーツにはやはり独特の魅力があり、遠方から人を連れてくる力もあるのだと実感した。

山陽新聞を**読**んで

ノートルダム清心女子大准教授 濱西栄司

湯郷ベルと大学連携に注目を

にあるが、これから活躍ど。も満たず、大学全体で光、移住・定住政策に
が期待されるところであ。も3割程度にとどま。生かす方策もあるだろ
る。う。女性が全力でスボ。県やメディアにも
それにしても地方のチ。方ローカル鉄道のあり。ーツに打ち込める環境。ぜひ注目していただき
ームの多くが、中核的都。ようが議論される時代。を、どうマネジメント
市をホームにしているの。に（7月26日付）、再。できるか、参考する
に比べて、ベルはそうで。び同じ手法で同じこと。いたいただきたい
はない。他の条件も考え。を成し遂げるのは難し。多い。
と、むしろ以前の活躍。いだろう。新しい運営。また本学には異中部
が奇跡的なものであった。陣の腕の見せ所である。から公共交通で通学す
す。

「山陽新聞を読
んでは月2回、
日曜日に掲載しま
す。」

ところである。近年、湯郷ベルは組織運営面で難局が続いていたが今年、経験豊かな人材を外部から招き、運営を大幅に刷新した。順位

よにも思える。その核に初代女性監督の卓越と10年に及ぶ努力・献身があったことは疑いようがない。実際、2011年の辞任以後、コーチや選手の退団が続くなどチームは転換期を迎えるようになった――学園は日本で他に例がない。国公立大の女性教

が、ぜひ期待したい。本学も県内唯一の女学生として連携を進めつつある湯郷を訪れたのはそのためであった。本学では教員の半分が女性で、経営陣・管理職の半分も女性であるが、このような大規模な転換期を迎える例は日本にない。国公立大の女性教

る自宅生が少なくなっている。かの倉敷往來の如く、湯郷ベルを通して岡山と美作がしっかりと結びつき、公共交通が再構築されることは本学学生にとってもありがたいことである。今でも「岡山湯郷ベル」というブランドは



国連大学が
清心SDGsを
高く評価

国連大学 × 全国30大学 × 清心 : SDG大学連携プラットフォーム

唯一の女子大
中四国では広大、
愛媛、清心のみ

青山学院大学
千葉商科大学
愛媛大学
広島大学
北海道大学
上智大学
神奈川大学
金沢大学
関西学院大学
慶應義塾大学
北九州市立大学
国際大学
国際基督教大学
九州産業大学
奈良教育大学

ノートルダム清心女子大学

大阪大学
大阪医科薬科大学
創価大学
東海大学
東京大学
東京外国語大学
東京工業大学
東京都市大学
東京理科大学
東洋大学
筑波大学
龍谷大学
→2022年度からお茶の水女子
大学、大阪公立大学も参加

青字: キリス
ト教大学
黄帯: 女子大
下線: 中四国

国連大の連携プラットフォーム
清心女子、広島大参加
SDGs活動世界へ発信

国連が掲げるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、国連大学（東京）が全国の大学と立ち上げた大学連携プラットフォームに中国地方からノートルダム清心女子大と広島大の参加が決まった。各大学が社会貢献の方法や役割について議論し、直面する共通の課題解決に取り組んでいく。

国連大学などによると、日本の大学が行うSDGsに関する活動は、国際的な認知度が低いとされる。そこで国際社会への発信力を向上させ、参加大学が連携して活動することでシンクタンクの機能を発揮し、行うことを希望している。

国連大学などによると、日本の大学が行うSDGsに関する活動は、国際的な認知度が低いとされる。そこで国際社会への発信力を向上させ、参加大学が連携して活動することでシンクタンクの機能を発揮し、行うことを希望している。

政に対する政策提言などを行うことを目標に同プラットフォームを設立した。他の参加大学は東京大、大阪大、慶応大、上智大、青山学院大、関西学院大など。10月末に第1回ワークショップが29大学が参加して行われ、それぞれの取り組みを紹介したほか、学術分野の役割や実施の問題点などについて意見交換した。地方創生や国際協力を実践できる人材育成に努めることなどを確認した。

今後は、国連大学の世界的なネットワークを駆使した戦略的な情報発信、ポータルサイトの構築などを行うことを希望している。

Recommendations for Transforming Behaviors in Universities for building a Better Sustainable Society

Notre Dame Seishin University

Established	1949
Number of Students	2,019 (March 31, 2021)
Student Ratio Males to Females	0:100
Percentage of International Students	0.0%
Number of Faculty	92 (March 31, 2021)
Faculty Ratio Males to Females	51:49
Number of Foreign Faculty	8
URL	https://www.ndsu.ac.jp/
Contact	Office of the President / prof4@post.ndsu.ac.jp
Sustainability Report	

Learning about the SDGs through Attempts at Social Change

Notre Dame Seishin University (NDSU) provides all students with opportunities and support to change society towards achieving the SDGs. This has mainly been coordinated through the NDSU Center for Regional Collaboration and SDGs Promotion (NRC) under the support from its UN office and the understanding about the SDGs from Sisters of Notre Dame de Namur (SND), which is the founding body of the university and the UN NGO (<https://ndatun.wordpress.com/>).

We have several groups of students who took action to achieve the SDGs. A group of students submitted recommendations for a prefectural gender equality policy in collaboration with the Okayama Prefectural

Office in 2020. Another group of students cooperated with the revisions for the Okayama Prefecture Anti-nuissance Ordinance (2018-2019). There is also a group of students which cooperated in research and projects with Okayama City for gender equalization. We have also cooperated in projects, in which our students participated, to formulate detailed rules to prevent harassment.

NDSU itself has created and will continue creating gender-equal organizations. It is one of the important achievements of our university that half of the people in the management teams are female and half of the faculty members are women as well.



United Nations University
Institute for the Advanced Study of Sustainability

RESEARCH PUBLICATIONS PEOPLE COURSES NEWS EVENTS ABOUT

UNU SDG—Universities Platform



国連大学は国内に本部を置く唯一の国連機関で、今年で45周年を迎えた。世界各地に研究所があり、国連のシンクタンク、研究機関としてSDGsのすべてのゴールに関わる取り組みを進めている。（斎藤章一朗）

[illegible]

国連大学 × 清心 「UNU Global Seminar」 : SDG大学連携プラットフォーム

清心生には優
先参加枠あり
(参加費は大
学が全額補助
します)

清心学生が2021年2名、
2022年4名 参加

United Nations University
Institute for the Advanced Study of Sustainability



第 37 回国連大学グローバル・セミナー

UNU Global Seminar: Implementing SDGs in the Anthropocene
UNU グローバルセミナー: ~人新世における SDGs の推進~



日 程: 2022 年 3 月 8~11 日
時 間: 13:00 - 17:00 JST
開催方法: オンライン (Zoom)
使用言語: 英語
参加人数上限: 100 名
受講料: 1 名 30,000 円
修了証: 受講修了時に授与
問合せ先: ias.pdt.event@unu.edu

セミナーの概要と目的

COP26 が 2021 年末に開催され、IPCC の第 6 次報告書が発表されました。気候変動の影響は多くの分野に現れることは明確になり、それを最小限にするため、社会の变革が急務です。渇水、洪水、生物資源、地滑り等の災害、熱波、海面上昇等の影響は食料、生活、交通、健康、文化継承等の様々な分野で多大な影響をもたらすのです。今年のグローバルセミナーでは気候変動がもたらす影響を生物資源、水、教育の三つの分野において考えたいと思います。

本セミナーでは基調講演を生物資源、水、教育にかかわる世界的に 3 名の著名な研究者にさせていただきます。そして、4 名ほどの小グループに分かれ、生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響に関して論議をしてもらいます。1 日目はワールドカフェの方式を採用し、30 分ごとにメンバーをシャッフルします。2 日目には生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響を解決する方策を検討します。1 日目と同様のワールドカフェ方式で解決方法に関して考えてみます。最後の 1 時間は 10 名程度のグループに分かれ、生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響とベストな解決策を提案する発表資料を作成してもらいます。3 日目は作業の日です。自由に発表資料を作ってください。4 日目はそれぞれのグループで生物資源、水、教育に及ぼす気候変動の影響とベストな解決策を口頭で発表してもらいます。

期待される学習成果

- 多様な専門分野 (生物資源、水、教育) のリーダーと交流し、現代社会が直面する地球規模課題への意識向上
- 段階を追ったグループワークを通して、多面的な側面を持つ地球規模課題へ対応する能力の向上
- 気候変動の影響と影響による課題解決方策についての討議を通じて、合意形成の手法取得・コミュニケーション能力向上
- ワールドカフェ方式による討議や発表準備を通じて、他の大学及び異分野を専門とする参加学生とのネットワークを拡大

参加対象者

- 日本の大学に在籍する大学生 (学部生、大学院生、留学生で専攻分野は問いません)
- 気候変動の影響と解決について関心のある若手実務家/社会人

* 注: テーマについての専門家、研究者を除く



地域連携・SDGs推進センター
: Twitter & ウェブサイト



ノートルダム清心女子大学

大学概要
学部・大学院
入試・入学案内
学卒生活
就職支援
教育・研究機関
社会連携・研究
訪問者用

教育・研究機関

地域連携・SDGs推進センター

[HOME](#) >
 [教育・研究機関](#) >
 [**地域連携・SDGs推進センター**](#)

教育・研究機関	
光華臨海研究所	+
インターナショナル 教育研究センター	
キリスト教文化研究所	
生涯学習センター	
奨励教育センター	
地域連携・ SDGs推進センター	

NDSU Center for Regional Collaboration and SDGs Promotion (NRS)

地域連携・SDGs推進センター（2019年4月設置）は、自身の地域連携センター（2014年設置）を拡充し、総合的な地域貢献活動と「持続可能な開発目標」（SDGs）の達成、及び関連学術研究・人材育成に取り組むことを目的としています。

| ポリシー

地域連携ポリシー

岡山・中国四国地域の諸団体（地方自治体、産業界、メディア、公益社団・財団法人、NPO法人等）との連携を引き続き発展させるとともに、平塚市・岡栗町・瀬戸の諸団体、国際機関、国際協力NGO等との連携も、視野に入れて参ります。

SDGs推進ポリシー